

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
 北九州市障害福祉ボランティア協会
 〒804-0067
 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
 北九州市立東部障害者福祉会館内
 TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
 E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
 URL:https://ksvk.jp/
 ◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
 ◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
 公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇第41回定期総会を終えて 2~3P
 北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 竹田 英樹

◆MYフレンド 4~5P
 「新人職員 せいぞろい!!」
 ・溝上 みとえ ・藤川 きく代
 ・森 佳世子 ・清水 恵子

◇福祉のまちづくりネットワークプロジェクト リレーレポート② 6~7P
 「おしゃれな空間とバリアフリー」
 北九州市障害福祉ボランティア協会 船寄 靖子

◆おしらせいろいろ 8P



座標軸

この2年、手洗いとマスクを欠かさず、人との接触もできるだけ避け、コロナ禍を乗り切つて来ました。しかし、未だにコロナ感染は治まる気配がありません。いつになつたら以前のような安心した生活に戻れるのだろうかと言いたくなります。しかし、誰しもがウンザリとしながらも不満な生活も慣れて来たようにも思います。

そんな最中、海外では、リオのカーニバルが2年ぶりに開催されたとニュース映像が流れていました。演出効果かと疑つてはいけません、障害のある松葉づえをついた子ども、車いすに乗った子どもがニコニコしながらサンバを踊っている映像でした。国を越え障害のあるなしに関わらず喜ぶ子どもたちの笑顔からこの日を待ち焦がれていたように感じられました。

感染防止を心がけながら夏祭りが再開される知らせが届いています。祭事は地元の伝統文化です。祭りそのものは疫病退散を願つて始められたものが多いと聞きます。不安な一面もありますが祭りを楽しんで暑い夏を乗りきりましょう。

早くコロナが退散してくれればいいですね。
 (K・O)

第41回定期総会を終えて

北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 竹田 英樹

令和4年度の定期総会

は、5月28日(土)に昨年と同じようにコロナ対策をしながら、会場とオンラインの混合(ハイブリッド方式)で、例年行っていた「研修会」も中止し、総会のみ短時間開催となりました。

最初に、岡田理事長から「コロナの影響で、いろいろな活動が3年近く停滞している状況が続いていましたが、今年には北九州市の代表的なお祭りの『わっしょい百万夏まつり』が再開されるようで、明るい情報に少し元氣が出る年になりそうです。外出を控えている障害のある人も、外に出かけていけるようみんなで応援していきたいと思います」と挨拶があり、その後、議長選出に入りました。

議長には、個人会員の村上

郁夫さんが選任されました。

議事に入り、総会成立の定数を確認後、議事録署名人に個人会員の神矢徹石さんと団体会員の「生き方のデザイン研究所」の遠山昌子さんが選任されました。

【令和3年度事業報告】

常務理事が、事業総括の説明と主な事業を中心に前年度と大きく違う事業のみ報告を行いました。

- ① 設立40周年記念事業は、次の2つのアンケートに取り組みました。
 - ・ 事業者を対象に「障害を理由とする差別の解消に関するアンケート」
 - ・ 「ボランティア協会の今

後を考えるためのアンケート」

② 障害福祉情報の広報事業である「情報センター事業」では、市内のイベント等を前年度同様まだ再開している団体が少なく、情報数がコロナ感染拡大前の令和元年度の202件に対し113件と半分に留まりました。

③ 障害者のIT支援事業「障害者パソコン派遣事業」も令和元年度の、501件に対し、256件と約半数で、コロナの影響が続いていると思われます。

④ そのような中でも取り組みを工夫した結果、参加者が増えているのが障害

児支援事業の「長期休暇対策事業(サマースクール)」で畑を借りて「いもほり体験」を実施しました。密にならないように参加者の時間分散など工夫して実施した結果、前年度の104名に対し、248名と倍以上の参加者数になり明るい兆しが見えました。

【令和3年度決算報告】

古賀副理事長より、令和3年度収支決算報告について説明がありました。

令和3年度収入状況は、賛助会費や事業収益が30%、40%増えたのに対し、寄付金収入が当初予算より約40%と少なく、収入総額では当初予算の97%に、支出は当初予算の約90%の執行率になり、収支総額では、約170万円の赤字決算になりましたが、これは基本財産取り崩しの関係で、設立40周年記念事業予

算を支出予算に入れた形の子算組みのためで、実質は2万6千8百96円の黒字決算になることが説明されました。

また基本財産は400万円を取崩すとしていましたが、記念事業の一部がコロナ感染の影響で実施できなかつたため約300万円を執行し、残りは令和4年度に繰り越すことになりました。

また、役員報酬は、副理事長に年間36万円を支出した旨の報告がありました。



【令和3年度監査報告】

堺監事より、4月28日に監査を行い、正確に処理しており過誤のない旨の報告がありました。

ここで議長より第1号から第3号までの議案について採決を図ったところ全員一致でこれを承認可決しました。

【令和4年度事業計画】

常務理事が40周年記念事業の一環で実施した「ボランティア協会の今後を考えるアンケート」結果から見えてきた課題検討を、会員にも参加していただいで、拡大三役会議を昨年に続き開催していくことや、具体的な活動として、3つの重点事業を実施するというこの方針を説明しました。



1. 身近な地域(小学校区・中学校区)に根ざした活動

「北九州市地域福祉計画」の精神である『誰一人取り残すことなくお互いに支え合う地域共生社会の実現』に向けて、社会福祉協議会と連携しながら、モデル地域を設定し障害福祉の視点で地域福祉活動に取り組み。

2. ICTを活用した取り組みの研究・試行

オンラインの活用拡大や情報格差(デジタルディバイド)の問題解決等を関係団体と連携した研究会を立ち上げて検討する。

3. 障害者差別解消に向けた啓発活動の強化

他団体と連携した出席講師活動の調整機能を拡充するとともに、機会を捉えての各種研修会を実施するなど啓発活動に力を入れる。

【令和4年度予算】

昨年度と同様、支出予算の中に、基本財産の取崩し額の約150万円を計上しているため赤字予算となっていることを副理事長が説明しました。

また役員報酬については、常勤の常務理事に年間120万円を支給する案が説明されました。

ここで議長より第4号から第5号までの議案について採決を図ったところ全員一致でこれを承認可決しました。

【定款変更】

3か所の定款変更案について常務理事が説明をしました。

1. 第13条…総会の権限

各事業年度の事業計画及び予算の承認が、本来理事会での決議事項のため、総会の決議事項から削除する。

2. 第25条…役員任期

役員任期が定時総会の終結の日までとなっている

が、国が示している公益法人の定款例に合わせて、役員任期は、定時総会の終結の時までに変更する。

3. 第31条…理事会の開催

理事会の開催日を、4月・10月・3月と定めているが、その月に開催できないこともあることから、月は定めず予算理事会・上半期報告理事会・決算理事会と内容名で定めることに変更する。

以上の第6号議案について採決を図ったところ全員一致でこれを承認可決しました。

議事が終了し、議長の解任後、理事長の閉会の挨拶により、第41回定期総会を閉会しました。

会員への参加呼びかけ

アンケート調査結果から「活動に参加したいが体力的に自信がない、遠方に住んでいるので参加できない」と

いう会員の声を受けて、在宅でもできる活動や自宅の近所での活動などの具体的なメニューを副理事長や常務理事が提案しました。

1. 自宅でできる活動

使用済み切手・各種カードや未使用のはがきの収集整理は以前から行っていますが、今年度は特に強化をして多くの参加者を募ります。

※一人で自宅というのではなく近く市民センターなどで集まった活動希望する人も募集します。

2. オンラインでの活動

会報や情報誌の校正や講師活動などの中には自宅からオンラインで参加できることがあります。活動場所まで出かけられない遠方の方も参加できます。

3. 地域活動への参加

防災訓練などの地域活動や今年度のモデル地域に住んでいる場合は参加したいという人を募ります。



溝上さんの担当は

経理を担当しています。営業事務も含め約二十年経理の経験があります。ハローワークで募集を見つけてました。最初の印象はおかたいたではないかと思ったのですが、経験したことのない業種に惹かれました。ボランティア活動を自主的にできていなかったたので、陰の一助になりました。と思い応募いたしました。入ってみて、いろいろな事業や委託事業が多く、それぞれ書類の提出先や様式も異なり、仕事内容も多岐にわたるので複雑でややこしいです。覚えるのが大変だと実感しています。会計は一人です。地道にコツコツと仕事をすること。会計基準に沿って一円の誤差も出さないことをモットーに取り組みます。

今回のマイフレンドはボラ協の新人職員4名の特集です!



溝上 みとえ

藤川 きく代

「やりたかったのは」

バザー等のイベントに参加して障害のある人とコミュニケーションを取りたいと思っています。今まで障害のある人と接したことはありませんでした。電話を取るのには新人スタッフの仕事なので、最近では聞き慣れてきましたし抵抗はありません。

「趣味は」

体が硬くジムに行ってもだめなので、体をほぐすために十年ぐらい前から月二回ピラティスに通っています。事務仕事で肩も凝るので負荷をかけずに体を動かす運動をしています。本当は自宅でも継続するといのですが、症状がないとしませんね。

藤川さんの担当は

パソコンサポーター養成派遣事業(以下・パソコンサポ)と福祉情報誌「ひこうせん未来」の担当をしています。パソコン派遣は、依頼者の個人宅等でサポートする調整をしています。コロナ過で依頼者は減っています。が、毎週水曜日にはサポーターが集まり情報交換を行っています。障害のある人にパソコン等のIT機器の便利

さ等を伝え、外に出られなくてもネットで繋がり、世界が広がる楽しさを知って貰いたいと思います。

「ボラ協を知ったのは」

今年一月に開催されたパソコン養成講座に参加して、いろいろな障害特性を学びました。当事者の話を聞いて、私にも何かできることがないかなと思っている時にボラ協の職員募集を知りました。学んだことを活かして少しでもお役に立ちたいと応募しました。

「前職は」

市内の介護施設でパートとして五年間働きました。いい職場でした。佐賀で一人暮らしをしていた母の介護のため辞めて実家に戻りました。実の母なので遠慮がなく言いたいことを言い合いました。亡くなった後、もっと「ありがとう」と言っておけば良かったと、とても後悔しています。

広告



SKC 会計グループ
税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
http://www.sakaikeiei.co.jp/

株式会社さかい経営センター 株式会社北九州経理代行センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

―入職して変わったことは―

より福祉のことに関心をもちようになりました。四月には『若園タウンパレード』というイベントに関心を持ち早速行ってみました。地域の方と北九州市立大学の学生たちも参加企画し、高齢者・障害のある人ない人すべての人に優しい街づくりに取り組んでいました。

森さんの担当は

車いすバスケットと「いべんとアラカルト」の情報紙作りです。前の職場でイベントを企画しても、知名度が低く来館者が増えず、せっかくなイベントをやっているのにもつたいないと思つた経験がありました。人と人が繋がっていくような広報に取り組み、いろいろな人が楽しく参加できるようになるといいと思います。

―前職は―

到津市民センター併設の子ども文化会館です。子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用者がいました。秋の文化



森 佳世子

祭で小倉北特別支援学校やひまわり学園の作品展展示ブーの担当でした。放課後等デイサービスの子どもが遊びに来て、障害のある児童と接することもありました。

―ボラ協とのつながりは―

理事である富安兆子さんのセミナーを受けたことがあります。実は短大時代は保田井先生(初代ボラ協理事長)が担任でした。先生が縁を結んでくださったのかもしれない。短大時代は保育専攻、一般企業に勤務してその後、祖父の介護をきっかけに高齢者介護にも携わりました。

―車いすバスケットボール大会も担当ですね―

関係支援する多くの団体をまとめていくのが大変だと感じています。自分ができるこ



清水 恵子

とをして自然に人と人が繋がっていくこと、それはボランティアの概念そのもののように思いますが、今は覚えることに必死ですが、楽しみながら取り組めるといいと思っています。

清水さんの担当は

障害福祉団体連絡協議会の事務局の担当です。実質的には取材の今日が初めての会議出席で緊張しドキドキしています。また全く把握できていません。仕事としては会議などのレジュメや議事録の作成等です。子どもに障害があるのですが、その障害しか知らないの、いろいろな障害について知ることができて勉強になります。これから鍛えられると思います。こんないいところに就職できたので長く頑張りたいです。

―前職は―

聞き手 森山 幸恵

―子どもさんに障害があるのですね―

障害者の生活介護のアシスタントや区役所のコロナ相談等。職業訓練校でパソコンを一日七〜八時間、五か月間学びました。こんなに頑張つて勉強したのは生まれて初めてでした。そこでは、学習者だったので、実践的に使えるようになりたいと思っています。

―一番下の娘に障害があります。校区の関係で少し遠い特別支援学校に通っていますが、人数も少なくのびのびと学んでいます。放課後はデイサービスを利用してはいますが、最近新しい施設に変わつたら、受け入れられているという安心感なのか、みんなと交流することができるようになりました。

―これからやりたいことは―

今まで子ども中心の生活でした。誰かに誘われて活動に参加していたのですが、人見知りを治して一人で何かに参加できたらいいなと思います。

広告 明るく・元気に・前向きに!困ったときはお互い様

業務内容

安全標識作成、資料の電子化、データ処理、印刷各種、各種コピー、大型カラー出力、印刷物(ポスター、記念誌等)の企画・デザイン

私たちは一人ひとりが生き活きと働ける職場づくりを実現します。



三菱ケミカル(株)100%出資特例子会社

化成フロンティアサービス株式会社

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1

TEL093-643-4390 FAX093-643-4393

http://www.kfs-mc.co.jp



福祉のまちづくり ネットワークプロジェクト

(J)レレポト②

「おしゃれな空間と バリアフリー」

北九州市障害福祉ボランティア協会

船寄 靖子

北九州市障害福祉ボランティア協会(以下…ボラ協)に入職して以来、何かにつけて目からうろこを落とし続けて来た気がします。

最初の目からのうろこは、まちづくりネットワーク(以下…まちネット)に参加した時のことでした。今考えると当たり前のことですが…おしゃべりな車いすユーザーの女性と話された、とある施設の多目的トイレの話です。

その人は「誰が使うと思っているのかしら?車いすのままだと鏡が見えないのよ!!」とぶんぶんと言っていました。翌日その多目的トイレを見に行き車いすの高さを想像して屈んで鏡を見ると「確かに!」頭の先くらいしか見

えなかったのです。

少しづつコロナ前の日常が戻ってきたように感じますが、以前の様にまちネットが集まり一緒に点検活動に行くことはできず、会場の人数制限など様々な制約のため、点検活動以外にも定例会(奇数月)や北九州市におけるバリアフリーチェックの物差しを作ろうと行っていた勉強会(偶数月)も開催できていません。今の活動は週に一度、勉強会としてバリアフリー法に基づき守るべきルール「道路移動等円滑化整備ガイドライン」の内容をメール配信しています。



そんな中、4月に北九州市の市有建築バリアフリー化意見交換会に同行させてもらい、小倉北区に新設された北九州平和のまちミュージアムとスペースワールドの跡地

にできたスペースLABOの内覧に参加しました。

北九州 平和のまちミュージアム

小倉北区の松本清張記念館や小倉北警察署、小倉合同庁舎などのある場所に建設されています。交差点から建物に繋がる扇型の階段は点字ブロックの敷設の確認で何度か現地の見学も行いました。

内覧には電動車いすユーザー、下肢障害のある人、視覚障害のある人、聴覚障害のある人、障害児の家族と一緒に参加しました。ミュージアムの床は落ち着いたグレーとブラウンの色合いで小倉織のような縞模様様の絨毯が敷かれていましたが、コントラストが低かったため視覚障害のある人への配慮を考慮して欲しいという意見がありました。

来ることがない、と思われるかもしれませんが、視覚障害のある人と言っても全盲の人だけではなく、眼鏡で矯正しても視力がでない(見えにくい)弱視の人がいます。弱視の人が一人で訪れた際にはサポートを受けなくても見学できるように『黄色の絨毯を導線のように置く』と点字ブロックの代わりに『話がありました。』

また、視覚障害のある人からは、触れることのできる展示の工夫について『実物を触れない風船爆弾などは、人の模型と一緒に風船爆弾の模型を置くと大きさの比較ができる』ということや展示スペース前のスイッチボックスが背面と同じ色なので『テープでマークすることで位置が分かりやすくなり、ぶつかり防止にもなる』などの提案がありました。



また、視覚障害のある人からは、触れることのできる展示の工夫について『実物を触れない風船爆弾などは、人の模型と一緒に風船爆弾の模型を置くと大きさの比較ができる』ということや展示スペース前のスイッチボックスが背面と同じ色なので『テープでマークすることで位置が分かりやすくなり、ぶつかり防止にもなる』などの提案がありました。

広告

介護サービスの相談・サービス事業所との連絡調整・要介護認定の代行申請も行います。



- デイサービス
- ケアプラン作成
- 訪問看護
- グループホーム
- 訪問介護
- 在宅介護無料相談
- 訪問リハビリ

いつも春の陽だまりであつた...



●介護付有料老人ホーム



株式会社 シダー http://www.cedar-web.com
〒802-0026 北九州市小倉北区大島1-7-19
TEL 093-513-7855 FAX 093-513-7858

スペースLABO



今回の内覧は聴覚障害のある人の調整がつかず参加できませんでしたが、先日のメンバーに加え手動車いすユーザー、精神障害のある人の家族、自閉症のある人の家族と一緒に参加しました。施設の1・2階はサイエンスLABOで3階がプラネタリウムになっています。

特に時間を掛けて見たのは3階のプラネタリウムです。車いすに座ったまま放映が見られる専用席が最大16席、聴覚障害のある人への配慮としての補聴ヒアリンググループが全席、またプラネタリウム後方には放映中に不安になったり、パニックになったりした際に休憩することができる『あんしんシート』という少し照明の明るいスペースが確保されています。この『あんしんシート』は防音で、声や音を立てても大丈夫だそうです。

電動と手動の車いすユーザーが参加していましたが2人とも「椅子に移乗して観ても良い？」と尋ねて座席へ移乗していただきました。『車いすのまま観られるのになぜ?』と思う人もいるかもしれませんが、「車いすのまま天井を観るにはクライニングが足りない」とのこと。車いすユーザーと関わりのある人にとっては当然分かっているようなことでも、関わったことのない人には想像で



ネタリウムの椅子は映画館で使われているような立つと座面が跳ね上がるシートが使われていますが、これも移乗する時に困難があると言われ、一人で移乗する場合と、介助者が居て移乗する場合とを實際に目の前で見せてもらいました。単純に『誰かがシートの座面を押さえればいいのでは?』という意見もありましたが、その人の手が移乗の邪魔をする

こともあると教えてもらいました。スタッフからは消防法上跳ね上げ式の座面は変えられないということも伺いました

が、ドアストッパーの様なものを隙間にかませ二時的に座面を固定する方法などの提案が車いすユーザーからありました。

北九州市障害福祉団体連絡協議会(以下・障団連)では北九州市と連携で行う事業や、まちネットで2ヶ月に一度定例会で市の道路計画課と議論する場があります。私たちがまちネットに関わり始めてから担当職員も何度かわわり、最近では異動先からまちネットにご相談いただくことも増えています。

コロナ禍以前、ボラ協も障団連も親睦会などを行ったりする際にはお店のバリアフリーの状況を知ることが必要でした。いろいろなことを考えると最後にはホテルを会場にすることも少なくありません。それが、旅行・観光となると、知らない場所なので更に

選択肢は狭まり難しくなります。

広がる
バリアフリーの可能性

前のページに書いていますが、コントラストがはつきりすれば、必ずしも「室内の点字ブロック」黄色でなくても良いかもしれないし、質感を変えた床材で誘導先が靴や白杖で感じることであれば、点字ブロックの凸凹もいらなくなる日が来るかもしれませんね。

幸い、今は市と障団連に見交換の場もあるので、ぜひ施設等を設計されるデザイナーの方にも障害のある人の意見が届き、『おしゃやかな空間』と『バリアフリー』が共存する新たな北九州スタイルができたらカッコ良いですか? 他県の障害のある人たちが「北九州市のバリアフリーについては市と障害者団体で一緒に考えているから観光の際には安心だよ」と言われる場所になるといいな...と思います。

広告

車椅子バスケットボール チームメンバー募集!

希 BASKET BALL TEAM ★★★★★
 希 足立クラブ
 Wheel Chair
 北九州足立クラブ
 CORE Corporation

自分を信じて!
 仲間を信じて!

KYUSHU DOLPHIN

CORE Corporation 有限会社コアは、上記バスケットチームを応援しています

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となりません)

岩橋由美子 大友 征子 久門 正子 坂井 孝 杉森美紀子
中原 祐子 中村紀美子 西村 邦子 蒔田 加代 増田 恭一

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

牛島美基子 岡村 正子 下田 猛 高田美知子 中村 生美
羽地 良一 古橋千寿子 村上 啓泰

KHファシリテック(株) 株式会社ジエイテクト九州支社

北九州市障害者スポーツセンターアレアス

北九州市立永大丸市民センター 新日本非破壊検査株

福祉用具プラザ北九州 ボランティア・市民活動センター

有限会社コア 障害福祉企画課 八幡西区役所保護課

○バザー品

岩橋由美子 釘宮 智子 公文真理亜 西村 邦子 宮崎 初美
山田 曜子

事務局からのお知らせ

☆会員更新のお願い☆

新年度になりました。会員の更新の手続きをお願いします。

◆正会員・年会費

※正会員の方はボランティア活動保険の更新が必要ですのでお早めの継続手続きをお願いいたします。

個人/3,000円

団体/4,000円

◆賛助会員・年会費

個人/(一口)3,000円~

団体/(一口)4,000円~

(お一人様何口でも可能です)

*同時に、ボランティア協会と一緒に支えてくださる新規会員さんも大募集しています。

ボランティア登録者の更新 新規登録者☆大募集☆

ボランティアの募集やイベントなどタイムリーな情報を不定期に発信しています。スマホ(携帯電話)かパソコンから、件名に「ボランティア登録希望」、本文に、お名前と電話番号を入力し、下記アドレスまで送信してください。

MAIL:XLZ02133@nifty.ne.jp



詳しくは事務局まで



令和4年度 ボランティア活動保険について

ボランティア活動をされる方は保険加入が必要となります。

ボラ協では手数料込500円で加入代行できますので、活動前にはご加入ください。

協会カレンダー

4月	6日(水)	西南女学院大学福祉学科向けオリエンテーション(竹田・森)
	13日(水)	拡大三役会議⑤
	20日(水)	西部障害者福祉会館運営委員会(竹田)
	21日(木)	特支P連オンライン理事会(サマースクール説明)(鈴木・船寄)
	25日(月)	障害者社会参加推進センター運営委員会(竹田)
	27日(水)	余暇支援者連絡会
	28日(木)	車いすバスケット会場運営班実行委員会①
5月	11日(水)	常任委員会
	12日(木)	決算理事会
	18日(水)	拡大三役会議⑥
	19日(木)	点訳・音訳ボランティア講座(竹田)
	25日(水)	パソコンサポーター意見交換会
	28日(土)	第41回定期総会
6月	4日(土)	北九州市障害福祉団体連絡協議会 定期総会
	9日(木)	身体障害者福祉協会法人運営会議(古賀)
	15日(水)	車いすバスケット会場運営班実行委員会② 拡大三役会議⑦